

Nisri

(公財) 名古屋産業科学研究所
Nagoya Industrial Science Research Institute

産業科学フォーラム

日時：平成25年6月11日(火) 14時から
場所：名大 VBL棟(4階) セミナー室
講演者：中村 正秋 上席研究員(名古屋大学 名誉教授)

テーマ：RDF 貯蔵槽の火災・爆発事故を考える

2005年8月、三重県多度町(現在、桑名市)に建設された「三重県ごみ固形燃料発電所」のRDF貯蔵槽で火災が発生し、爆発しました(第2次火災事故)。
“RDF”(Refuse Derived Fuel)は、家庭から排出される可燃ゴミを乾燥し、固形化した燃料で、当時、“都市ゴミ問題の救世主”として全国的に注目されていたのですが、実は前年(2004年12月)にも同じ貯蔵槽で火災が発生していました(第1次火災事故)。この事故後の対応策が十分であったといえるでしょうか。十分であれば、2度目の火災は防げたでしょうか。

RDF貯蔵槽を設計・建設する段階で、「RDFは安全だ」という神話がまかり通っていて、何が検討され、何が検討されなかったのか、について紹介します。

*参加いただける方は、事前に下記まで連絡願います。

公益財団法人 名古屋産業科学研究所
研究部 E-mail: dor@nisri.jp

会場へのアクセス

地下鉄名城線 名古屋大学

3番出口 徒歩3分

<http://www.nagoya-u.ac.jp/global-info/access-map/higashiyama/>

